

## 16 批評を受けて

日本バプテスト連盟 大宮バプテスト教会牧師 永町 友恵  
牧師：18年 説教塾：1年 セミナー初参加

### 批評を受けて

説教塾研修セミナーに初参加しました。それは私自身が説教に悩んでおり、ある方からセミナーに参加して批評をしていただいた方が、普段の説教塾の学び以上に自分の身になりますよとの助言を頂いていたからです。

正直批評していただくことは恥ずかしさと共に勇気がいります。それは自分の足りなさが指摘されてしまうからです。しかしそのことを知らないでは進歩がないのです。これは説教者自身の問題と共に教会の問題ともなり得るのです。ですから批評を受けてさらに一步踏み出すことが必要なのです。

批評していただいて感じたことは、説教準備前に理解した程度に応じてしか説教ができないというに気がつかされました。せっかく資料があり、解説していただいたとしても、それらが理解できていないと、説教に反映ができないのです。そのことを説教批評していただいて「あっ、わからなかったんだと」初めて知ることができました。

もう一つは、当然聴衆は理解してくれると思ったことが、理解されていないとはっきり分かりました。また多くの方々の批評を通して、その多岐にわたる説教の印象の違いに素直に驚いたことです。それは善し悪しにおいてもです。それは語り手が未熟だということと共に、説教の広がり大きさも感じました。

また同じ聖書箇所の説教を聞き合うことで、その説教を分析したり、さらには他の方々への説教批評を聞くことも同様に有益だと感じました。

イエス・キリストを言い表すのに、私はイエス様と表現しましたが、それは主イエスと神学的な意味で違うことなども学びました。

参加者との交わりの中で、皆さんいろいろな説教を聞き慣れ、かつ覚えておられること、そして自分自身のギリシア語の音読等が不足していることを感じました。

そして最後にその批評を生かすも殺すのも、その人、説教者次第です。そして自分の説教批評を繰り返し聞くうちに、課題を乗り越えやすくなると思いました。